平成25年度　決算説明書／事務事業評価シート

課　名	建設課

予算	款	項	目	決算書
	8	1	1	248 頁

目　　名
土木総務費

事業名称
土木総務事業

1．概要

目的	土木行政の円滑な遂行	対象	市民
事業概要	○土木行政事務事業 旅費、需用費、役務費、負担金補助及び交付金等		

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		予算現額（千円）	決算額（千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	土木行政事務事業	消耗品費	需用費	2,030	1,510				1,510	3
計				2,030	1,510	0	0	0	1,510	

２．指標設定

成果指標	指標名	土木行政の円滑な遂行	目標年度	―	指標の設定理由
	数値	―			土木行政の円滑な遂行のため

活動指標	指標	a		b		c		d	
	数値	目標		目標		目標		目標	

３．実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５
土木行政の円滑な遂行		―	―	―
		―	―	―

活動指標名		単位	Ｈ２３	Ｈ２４	Ｈ２５
a			―	―	―
			―	―	―
b			―	―	―
			―	―	―
c			―	―	―
			―	―	―
d			―	―	―
			―	―	―

４．課題と対応

課題
―
対応（改善点等）
―

５．事業費・・・Ｈ２３～Ｈ２５（決算額）、Ｈ２６（予算現額）

決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		3,449	1,996	1,510	1,940
	うち経常経費	3,449	1,996	1,510	1,940
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	3,449	1,996	1,510	1,940
	うち経常	3,449	1,996	1,510	1,940
事業費に係る人件費		4,300	4,294	6,538	6,653
事業費に係る人役		1.00	1.00	1.50	1.50

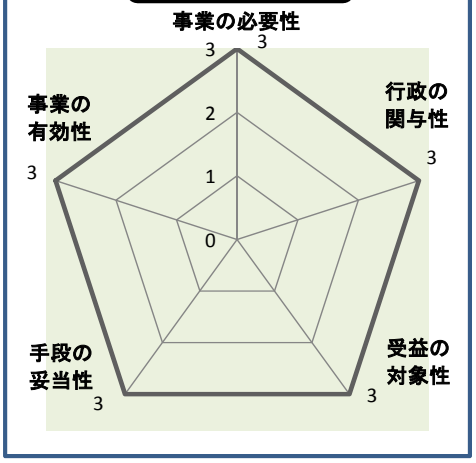
６．Ｈ２７年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
必要最小限度の予算措置のため。

７．担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	円滑な土木行政を遂行するために必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	市が実施主体である。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	広く市民が享受できている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	円滑な土木行政が行われている。

分析グラフ



８．内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き経費の削減に努めること。